

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年3月26日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105073
法人名	有限会社 いろり
事業所名	グループホーム いろりの家
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上六丁目20番30号 (電話) 099-262-4647
自己評価作成日	平成23年2月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年3月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様とご家族のきずなを最も大切にして、お互いが安心してお過ごし頂くような雰囲気作りに努めております。日頃の何気ない表情やお出かけの時の嬉しそうな顔、お化粧されたお母様のご様子など常にデジカメを用意して写真に写し毎月1回担当スタッフが手書きのお便りを書いてお送りしております。ご家族は毎月とても楽しみに待ってくださいます。お便りを見てすぐ「写真見ました。ありがとう」とお電話下さったり面会の時「いつも座っていたソファの周りに貼っていますよ」・・・とか「東京の妹にコピーして送りました。」など嬉しい言葉を頂いて職員も喜びを頂いています。また、季節を感じて頂くために、天気やご本人の体調をみながら、毎日散歩に出て行くようにしています。その散歩により、地域の方々からお花を頂いたり、地域の方々との会話もあり、ご利用者様が地域の一員として過ごして頂けるように心がけております。その他、毎月ご利用者様に喜んで頂けるように、お出かけにより、外食やお茶などを飲みに出かけ、ご家族に代わりお手伝いさせて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、静かな住宅地に位置し、近くには交番やスーパーマーケット・JR駅・大学等があり、利便性に富んでいる。

理念の「ゆっくり、楽しく、いっしょに」を活かした介護を心がけ、昼間は玄関に鍵をかけないで自由に暮らしている。利用者が外出希望時には、落ち着くまで職員が付き添っている。

馴染みの関係を継続できるように、かかりつけ医や理・美容室の利用を支援している。

管理者の勤務体制がフリーの位置づけであるため、職員やホーム全体への細かい配慮が行き届いている。

利用者や家族の面会時には、近況報告だけでなく家族の希望等もゆっくり聞ける十分な時間を取って対応している。

災害対策では地域住民との協力関係も築かれている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関や台所スタッフの目の届くところに理念を啓示しており「ゆっくり 楽しく 一緒に」を念頭にケアを行っている。	地域に密着したサービスを提供するという理解しやすい理念である。理念を掲示し、全職員が共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に入会して情報を頂いている。近隣の方からは季節のお花や野菜などを頂いたり、またおすそ分けをしたりして交流している。	日常の散歩の時に地域住民と挨拶を交わしたり、ホームの行事にも近隣から参加がある。また、ホームからも町内会の夏祭りに参加し地域との交流を大切にしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の高齢者の暮らしに役立つように、介護の相談もお受けするように案内している。又敬老会や各行事にお誘いして現状を見ていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営会議では現況報告を行い毎回貴重な意見を頂き、それをスタッフにも回覧している。ミーティング等で改善策も検討します。	地域代表として町内会長・老人会長・民生委員・地域包括支援センター職員がメンバーとなっている。会議では地域の情報を把握したりホームの現況を報告し、出された意見を改善につなげている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市の担当者にはご利用者の為のアドバイスや更新申請時など助言をもらっている。又運営会議には包括支援センターの方の出席を頂き部屋の空き情報など報告しています。	現状報告書を年2～3回市へ提出し、ホームの状況を市の担当者に理解を得るよう努めるとともに、情報提供を受けるなど協力関係を結んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設けており毎月のミーティングで検討している。玄関や裏口など施錠はしていない。又転倒転落の危険のある方はベッドの位置を変えたりして安全の確保に努めている。センサーの設置も行いました。	身体拘束廃止については職員会議等で職員への周知を図っている。また、玄関に施錠をしないで、ホーム外への動きがあるときは職員が付き添う事で対応しており、ベッドからの転落防止にはセンサーの設置やベッドの位置を変えたりして工夫している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の委員会を設けており毎月のミーティングで検討している。言葉の虐待もあることを十分認識するように指導している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度については有る程度分かっているが、現在まで特に必要な方が居られなかったために、情報と勉強の不足です。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居申し込みから利用開始まで見学や相談に来ていただいたりして納得していただいて同意書をいただいている。又退去解約に関しても十分説明をいこなって納得していただいている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	面会時やケアプラン見直しな時など、家族の意向をうかがってプランに活かしている。又家族会でも意見を頂いている。	プラン見直し前には、利用者との懇談したり、家族の面会時等を利用して、積極的に職員から声かけを行い、家族の意向把握に努め、運営に活かしている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回の職員会議が中心であるが必要に応じて随時意見や要望は聞いている。早めに改善策を検討している。	職員会議で全体的な要望や意見を聞いている。職員間の案件や課題については、管理者が個別に話を聞いたりして、円滑にケアに取り組めるように反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者と連携を取りながら職員の勤務態度などを把握し給与や賞与によりその能力実績年数などに合わせて算定する。又研修に積極的に参加や残業の無い勤務体制を作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修案内などが有ればすべて提示してその都度都合のつく職員は参加してもらっている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム教会での研修参加や地域で催される同業者の勉強会には出来る限り参加し交流を深めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	紹介頂いた事業所に出向いたり家族との面談など情報の収集を行っている。特にご本人が新しい環境の中で安心して生活できるように支援します。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の不安を少なくするためにゆっくり対話して問題点などの把握につとめています。そして安心して頂けるような関係作りを大切にしています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ケアプランの作成時のアセスメントなどで特に留意して必要なサービスを決めているが、生活が始まってから必要になることが多いように思われます。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一人の人生の先輩としていろいろ教えていただいたり、相談相手になったりして家族の様な関係もできており、出来ることは手伝って貰っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から家族との交流を大切にしており何でも相談できるような雰囲気作りを心がけている。そして日常の生活の報告もまめに行い喜んで頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の意思を尊重して理美容室や主治医などもご本人の希望に沿って継続している。又電話や手紙のやり取りも積極的に支援している。又担当スタッフが手書きのお便りを送るなど近況の報告も毎月行っている	本人の希望に沿って、かかりつけ医や理・美容室等との関係継続を支援している。また手紙や電話のやり取りも手伝って、馴染みの関係をできるだけ継続できるようにしている。墓参については家族対応で実施している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者個人の言動から良い関係が保てるように気を配っている。たとえば座る場所とか外出の際の組み合わせも考えたりゲーム等もメンバーを考えながら楽しい雰囲気作りを心がけている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去されたご家族からたまに現在の状況報告を頂く事が有る。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの意向の把握がとても難しい。言動や表情から孤独にならないで安心して生活できるように配慮している。	家族から本人の好みや以前の生活状況を聞き取って参考にしている。本人に対してもしたいことを聞いたり、表情や言動の観察により、意向の把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを中心に日々の生活の中での会話などから情報を得るようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の健康管理を大切にしてその日の行事への参加など無理のない計画を立てるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン見直しは6ヵ月毎であるが、毎月各担当者が評価を行い職員会議でも検討しておりより良いケアを目指している。	ケアプラン作成や見直しについては、3ヵ月毎にモニタリングを実施し、家族や本人・関係者から意見や希望等を聞いて、職員会議で検討しプランに活かすように努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアプランに沿ったサービス実施記録の記入は日勤夜働きちんとできている、他に申し送り事項の引き継ぎで全員が見るようなノートも活用している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>サービスの種類は限られているが必要に応じて柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>年に数回であるが地域の方とのふれあいをもち趣味など出来ることを披露することで、自信と楽しみを持って生活できるように支援している。もっと活動の場を増やしたい。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医は入居前からの継続の方が多く利用者が信頼して安心して受診できている。数か所の病院クリニックと連携をはかっている。</p>	<p>入居前のかかりつけ医の継続支援となっている。関係が継続するように支援しており、協力医の受診もできる。安心して適切な医療が受けられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常的に看護師か訪問看護師へ報告又は相談をまめに行い指示を受けている。早めに適切な処置ができています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入退院時のお互いの情報提供をはじめ管理者やスタッフが面会に行っている。また入居者が安心して加療出来るように病院関係者との連携を大切にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所として出来ることできないことを入居時の契約できちんと説明している。最終的にはご本人や主治医と家族との話し合いで決めるが現在はターミナルまでとは決めていない。</p>	<p>重度化した場合の対応については、「指針」等を作成しており、それに基づいて家族へ説明している。ホームの力量に応じて支援しているが、終末期については確定していない。</p>	<p>終末期への方向性を決め、本人・家族・職員等が支援について、方針を共有できることが望まれる。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時のマニュアルは出来ているが定期的な訓練は行っていない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>毎年消防署の協力も頂き年に2回の訓練は行っている。昨年は近隣の方々の協力も頂いて実施した。</p>	<p>年2回、消防署の指導のもと、夜間を想定した訓練を実施している。近隣住民も訓練に参加し協力体制を築いている。非常食等の備蓄も行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者のプライバシーの保護は十分配慮している。入浴は一人づつ入って頂きトイレへの声かけなどはさりげなく行う。常にケアをさせて頂く、、という姿勢で取り組んでいる	プライバシーを尊重する支援については、職員会議でも繰り返し研修し、誇りを傷つけないようにさりげない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ゆっくり対話することで、本人の希望や本音が聞ける事もあるので、一人と一人でゆっくり話す機会を作っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴や散歩買い物などの希望が多いがなるべく、その方の希望を聞けるようにしている。でも時々ホームの都合に合わせて貰うこともある。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	外出時は声かけするとお化粧品をしたり帽子を選んだり、着て行く服を選んだり、、と楽しそうに準備される。入居者の希望を聞きながら一緒に選ぶ楽しさも喜びの一つである。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の野菜は形ある時に見て頂いたり、野菜の選別も手伝ってもらっている。盛り付けや配膳下膳は毎日手伝ってもらって役割を自覚してもらっている	手伝い等のできる利用者には役割を持ってもらっている。その人のペースでゆっくり落ち着いて楽しく食事ができるように声かけして支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	特別な治療食は供しないがその方にあった調理の工夫で安全に美味しく食事して頂いている。スタッフがバランス良く調理しており水分摂取の少ない方には飲み物の工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後すぐ口腔ケアの声かけを行いできない方は介助している。義歯は1日1回はポリデント消毒している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握、サインに気づき失禁を少なくするように声かけする。又昼間はトイレで気持ち良く排泄出来るように習慣化し、夜はポータブルトイレ又はおむつの着用で安心して眠れるように支援している。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、時間を見計らってトイレ誘導をすることで、トイレでの排泄を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	常時便秘傾向の方はチェックをきちんと行っている。運動や乳製品摂取水分補給、繊維の多い食物などの食事での排便のコントロールを心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の入居者の予定と身体状況で決めます。又浴槽に入る人とシャワー浴のバランスも考えて行っています。	入浴は隔日であるが、利用者の希望や状況に合わせて、毎日対応できるようにしている。また、身体の状態に応じて入浴日を変更するなどの工夫をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	身体の状態や日中も居室で休息して頂く方もいます。夜間は眠剤服用の方も多く大体良眠出来ています。冬は湯たんぽを入れる方もおられ気持ち良く休んで頂いています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬は看護師の管理で服薬は介護スタッフが直接手渡しで服用の確認まで確実にしています。又誰が何の薬を飲んでいるか分かりやすい表を作ってあります。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外に出かけることが好きな方には散歩で気分転換を図っています。居室で大正琴を楽しんだり絵を描いたり、テレビを観たり花札遊びを楽しむ方などそれぞれです。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	希望者は毎日散歩に行きます。又家族との病院受診や墓参などの急な外出時は薬やパッド等の忘れ物が無いように準備します。ホームの月1回の外出はスタッフだけで対処しているので次回から家族や他のボランティアの協力をお願いしたいと思っています。	日常的には、散歩や近くのスーパーマーケットに買い物に出かけている。また、墓参については家族に対応してもらっているが、ホームで月1回の外出を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を持つことで何回か入居者同士のトラブルがありました。原則おこずかい程度を施設で管理しており外出の時は自由に使ってもらっています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>状況により電話をかけたたり、家族の方からかかってきたり自由に交信できます。手紙を書く人に関しては一緒にポストに入れて行ったりします。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>トイレや部屋の消臭剤芳香剤の設置でホーム全体の匂いに気をつけています。玄関や洗面所には四季おりおりの花を飾り野の花など入居者さんがとても懐かしく喜んで下さっています。</p>	<p>玄関には季節を感じさせる花が飾られ、廊下の壁には入居者の作品が貼られている。共用空間はゆったりとくつろげるソファが設置されており、また空気清浄に配慮し、居心地のよい工夫がされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>日常的にホールが皆さんの生活の場であり特に気を使うことなく過ごしておられる。又ゆっくりテレビを観られる方の席はいつも確保されています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に持ってこられたタンスや仏壇もあり、ご家族の写真やお花が飾ってあったり自由な居室である	各居室には、利用者の使い慣れたタンスや冷蔵庫や仏壇などが置かれ、それぞれが自由にくつろげる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	9名の方の自立度のバラツキが大きいため安全面を考えてあまり余計なものは置かず自由に安全に生活できるように配慮しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない